

「大阪国際がんセンター」の最先端治療現場から学ぶチーム医療
特別講義「人はなぜがんで死ぬのか？」開催
【7月24日 東広島キャンパス講堂】

広島国際大学（学長：焼廣益秀）保健医療学部は7月24日、大阪府立病院機構大阪国際がんセンターの松浦成昭総長を招き、東広島キャンパス講堂で特別講義「人はなぜがんで死ぬのか？」を開催します。学生が受講するほか、一般の方の聴講もできます。

がんの治療において近年、目覚ましく進歩を遂げているのが、放射線治療や薬物治療などです。また、早期発見に繋がる画像診断や病理検査に、診療放射線技師や臨床工学技士、臨床検査技師などの役割が欠かせません。さらに終末期の患者に対しては、看護師や臨床心理士、管理栄養士、ソーシャル・ケースワーカーらによる緩和ケアが重要になってきます。

最先端のがん治療を行っている大阪国際がんセンター総長の松浦氏は、がんに関する基礎的な知識から、現場で行われている多職種の連携によるチーム医療の重要性について講演します。



講師の大阪国際がんセンター松浦総長

つきましては、概要をお知らせしますので、事前告知ならびに取材で取り上げていただきたくよろしくお願いいたします。

.....【概要】.....

1. 開催日時：2019年7月24日（水）9：00～10：30
2. 場 所：広島国際大学 東広島キャンパス 講堂
（東広島市黒瀬学園台555-36）
3. テー マ：特別講義「人はなぜがんで死ぬのか？」
【講師】松浦成昭氏（大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター総長）

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 保健医療学部事務室 TEL：0823-70-4541

■取材の申し込みに関するお問い合わせ先

学校法人常翔学園 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102 携帯：090-3038-9927